

成城大学で受け入れる交換留学生と 地域住民との国際交流の実際について

成城大学国際センター

課長 金田 陽治

報告内容

- 成城大学および成城大学国際センターについて
- 本学の国際交流活動について
- 留学生地域交流事業採択プログラムについて
 - 2019年度
 - 2018年度
 - 2016年度

成城大学および 成城大学国際センターについて

- 1950年に開設、4学部11学科から構成される人文社会科学系の大学
- 在学生数5500人程度の比較的小規模な大学
- 東京都世田谷区のキャンパスのみ
- 設置母体である学校法人成城学園の創立100周年に合わせ、国際センターが設置される（2015年）
国際教養教育、留学促進、国際交流（学内・地域）
- 教員3名、職員4.5名

規模の小ささを活かした密度の濃い国際交流活動

国際交流活動について

- 正規留学生 10～15名程度 ほとんどが大学院生
- 交換留学生 毎年度30名弱 日本語や日本文化を学びに来ている
米(15) 豪(4) 仏(3) 中(3) 台(2) 英(1) 独(1)
1学期～2学期間の在学
- 国際交流サポーター運営局
成城生による自主的な組織（30名程度）
各種イベントの企画・運営

2019年度スケジュール

4月	ウェルカムパーティ、コーヒーアワー、日本語練習ボランティア（～7月）
5月	コーヒーアワー
6月	コーヒーアワー、国際交流運動会、アメリカ大使館講演会、 <u>国際交流ラウンジ x 2回（区主催）</u>
7月	フェアウェルパーティ
8月	
9月	ウェルカムパーティ、鎌倉旅行、 <u>地域交流イベント</u>
10月	日本語練習ボランティア（～1月）、コーヒーアワー、 <u>国際交流ラウンジ（区主催）</u>
11月	コーヒーアワー、留学生懇親会、レガッタレース、 <u>国際交流ラウンジ（区主催）</u> 、 <u>国際メッセ（区主催）</u>
12月	国際交流運動会、クリスマスパーティ
1月	フェアウェルパーティ

留学生地域交流事業採択プログラム 2019年度

東京2020オリンピック・パラリンピックで国際交流
～使える英語はこう学ぶ！～

- 目的：東京2020オリンピック・パラリンピックを前に、訪日外国人とのコミュニケーションのとり方を学び、地域住民が主体的にオリ・パラに関わる方法を模索する国際理解教育の推進
- フェーズⅠ：ダニエル・カール氏の講演とワークショップ（9/21@成城大）
- フェーズⅡ：外国人とのコミュニケーションについて考えてもらう（11/9@成城大）
- フェーズⅢ：本事業の情報発信（11/17@区民会館）

留学生地域交流事業採択プログラム 2019年度

- フェーズⅠ：講演とワークショップ（9/21） 約140名

第1部：講演「国によってコミュニケーションは違うべ！」 ダニエル・カール氏

外国人にとって日本語を理解する難しさ、外国の方に日本語で話しかけるときに気をつけること、言葉、文化、コミュニケーションの違いを、これまで日本で体験したエピソードをユーモアたっぷりに交えながら話した

第2部：「英語コミュニケーション・ワークショップ」

ダニエル・カール氏の指導のもと、外国人とコミュニケーションを取る練習

留学生1人：地域住民2～4人



留学生地域交流事業採択プログラム 2019年度

- フェーズⅡ：発表とワークショップ（11/9） 43名

「外国人の困る日本語 バイト敬語・和製英語・カタカナ語」

第1部：留学生の発表「外国人にとって日本語の難しいところ」

留学生2名（香港、韓国）

クイズゲーム（アイスブレイク）

第2部：「外国人にもわかりやすく、コミュニケーションが取れる表現とは？」という問題について

グループごとに回答をまとめ発表した

留学生2名：近隣住民3～5名



留学生地域交流事業採択プログラム 2019年度

- フェーズ III： 本事業の情報発信（11/16） 約1400名

「せたがや国際メッセ」

世田谷区が主催する国際交流イベントにおいて、本学の交換留学生の派遣と共に、本事業に関するポスター展示を行った。



留学生地域交流事業採択プログラム 2018年度、2016年度

- 2018年度 「食を通じて学ぼう！世界のダイバーシティ」
日本人になじみの薄い食文化 ベジタリアン、ベーガン、ハラール料理についての講演および試食会
ベーガンやムスリムの当事者からの体験談や交流など
- 2016年度 「英語で国際交流 in 世田谷」
噺家による英語落語と、留学生による小咄の実演



おわり

